

小 学 校

平 成 5 年 度

# 教育研究員研究報告書

|                |
|----------------|
| 生            活 |
|----------------|

東京都教育委員会

平成5年度

教 育 研 究 員 名 簿

| 分科会              | 氏 名      | 地区名 | 学 校 名         |
|------------------|----------|-----|---------------|
| 第<br>一<br>学<br>年 | ○鷺 田 睦   | 中 央 | 月 島 第 二 小 学 校 |
|                  | 加賀谷 恭 子  | 新 宿 | 落 合 第 六 小 学 校 |
|                  | 伊 原 知恵子  | 墨 田 | 菊 川 小 学 校     |
|                  | 小 島 英 樹  | 練 馬 | 大 泉 第 四 小 学 校 |
|                  | 吉 川 雅 裕  | 保 谷 | 住 吉 小 学 校     |
| 第<br>二<br>学<br>年 | ◎坂 戸 英 樹 | 府 中 | 南 白 糸 台 小 学 校 |
|                  | □黒 木 恵 子 | 江 東 | 第 四 砂 町 小 学 校 |
|                  | 小 泉 京 子  | 杉 並 | 杉 並 第 一 小 学 校 |
|                  | 青 山 美和子  | 江戸川 | 松 江 小 学 校     |
|                  | 後 藤 富美子  | 町 田 | 南つくし野小学校      |
|                  | 小 林 進    | 瑞 穂 | 瑞 穂 第 一 小 学 校 |

全体世話人 ◎      副世話人 ○      記録 □

担 当 課 長    小島    宏      教育庁指導部初等教育指導課  
担当主任指導主事    寺崎 千秋      教育庁指導部初等教育指導課

## 目 次

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| I 研究主題 .....                                   | 2  |
| 「一人一人の児童が思いや願いを実現できる支援の在り方」                    |    |
| 1 研究主題設定の理由 .....                              | 2  |
| 2 研究主題についての基本的な考え方 .....                       | 3  |
| II 本研究で目指す児童像 .....                            | 5  |
| ① 自分なりの思いや願いのもてる児童                             |    |
| ② 自分の思いや願いの実現へ向けて意欲的に活動する児童                    |    |
| ③ 友達の思いや願いも大切にし、助け合える児童                        |    |
| ④ 自分の思いや願いを発展させていくことのできる児童                     |    |
| III 研究の全体構想 .....                              | 6  |
| ・目指す児童像      ・研究のねらい      ・研究仮説      ・研究の内容・方法 |    |
| IV 研究の内容・方法 .....                              | 7  |
| 1 思いや願いの把握                                     |    |
| 2 一人一人に即した支援の研究                                |    |
| V 実践事例 .....                                   | 12 |
| 第1学年「秋と思いきり遊ぼう」 .....                          | 12 |
| 「虫をさがそう」という活動の中で思いや願いを実現する支援の例                 |    |
| 第2学年「宝物いっぱい秋」 .....                            | 18 |
| 「いろいろな秋を調べたい」という多様な活動の中で、思いや願いを実現する支援の例        |    |
| VI 研究の成果と今後の課題 .....                           | 24 |

### 〈要 約〉

平成5年度・教育研究員生活部会は、「一人一人の児童が思いや願いを実現できる支援の在り方」を研究主題にかかげ、授業研究を中心として研究を進めてきた。

研究を進めるに当たっては、「目指す児童像」を明らかにし、児童の思いや願いの把握に努めるとともに、支援分類表をもとに支援準備表を作り、一人一人に即した支援の在り方について検討した。

# I 研究主題

一人一人の児童が思いや願いを実現できる支援の在り方

## 1 研究主題設定の理由

これからの教育では、社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる資質の育成が求められている。学習とは、本来、児童一人一人のためにある。児童一人一人の思いや願いがかなえられ、成就感や満足感をともなうこそ、その学習が生きるのである。これからの学習指導は、児童が自らの課題をもって、主体的・意欲的に活動する過程において、考えたり、判断したり、試したり、表現したりして、自己実現を図ることができるようにすることを基本にして展開されることが大切である。

生活科においても、児童のもつ思いや願いに基づいた学習活動が展開されるようにすることが必要である。生活科は、具体的な活動や体験を通して自立への基礎を養う教科である。いわば、あれこれの知識を数多く覚えるのではなく、直接体験を重視した学習活動を展開し、学ぶことの楽しさや成就感を体得し、それを次の学習や自分自身の生活に生かそうとする態度や意欲の育成を目指すところにそのねらいがある。

現在の児童の実態については、「やってもらい過ぎるために自立しにくい。」「受け身の場が多く、自分から『～したい』と思うことが少ない。」などの問題点が指摘されている。

しかし、児童は、本来、意欲的で、「よくなろう、よくなりたい。」と願っているし、「～したい」という思いや願いをもっているものである。そして、自分のもつ思いや願いの実現に向かって意欲的に取り組み、実現することによって、児童は成就感や満足感を実感する。そのことが、次の活動への意欲となり、その積み重ねが自己実現へとつながっていくのである。

そこで、まず、本研究で目指す児童像を次のように考えた。

- ① 自分なりの思いや願いのもてる児童
- ② 自分の思いや願いの実現へ向けて意欲的に活動する児童
- ③ 友達の思いや願いも大切にし、助け合える児童
- ④ 自分の思いや願いを発展させていくことのできる児童

また、教師の支援の在り方についても認識が不十分なため、まったくの放任になってしまったり、今までとかわらない教師中心の指導になったりしてしまいがちな実態もある。

そこで、生活科の授業に当たっては、一人一人の児童が身近な自然や社会に興味・関心をもてるよう学習環境を整え、それにかかわった時にもつ「やってみたい」「できるようになりたい」という児童の思いや願いを実現できるように、授業前・授業中・授業後を通して支援していくことが重要であると考えた。また、そのように環境を整えることも支援の一つととらえた。

そして、教師は児童の思いや願いを的確に把握し、活動の状況をとらえながら一人一人に即した適切な支援を行うことが大切であり、これらのことを積み重ねることによって、児童は思いや願いの実現に向けて主体的に活動できるようになると考えた。

上記のような考えに基づいて、研究主題を「一人一人の児童が思いや願いを実現できる支援の在り方」とし、授業中だけでなく環境の構成・活動計画なども含めた一人一人に即した支援の在り方について研究を進めていくことにした。

## 2 研究主題についての基本的な考え方

### 一人一人の児童が

児童は、一人一人違ったよさを持ち、考え方も違っている。そして、社会（人々、物）や自然にかかわれば、違った感じ方をしたり違った見方をしたりする。「一人一人の児童が」とはこのように児童それぞれが主体的に社会や自然に働きかけている姿ととらえる。

### 思いや願いを

児童は、身近な社会や自然とかかわる場面で「不思議だな」「楽しそうだな」「おもしろそうだな」という興味や関心をもつ。それが「わたしは～をしたい」「わたしは～を調べたい」というように、自分の課題として児童の心の中に方向付けられた時に、興味や関心が「思いや願い」に高まったととらえる。

また、そうした思いや願いは、児童の言葉や表情・態度にも十分に表れている。

### 実現できる

児童がもっている「思いや願い」を実現するために活動することは児童にとって楽しいことであり、意欲的に取り組むことができる。そのような時は、児童が自分のもつ能力を発揮する時でもある。そして、「思いや願い」が実現した時、児童は満足感や成就感を味わうことができ、また新たな「思いや願い」が生まれることが期待できる。

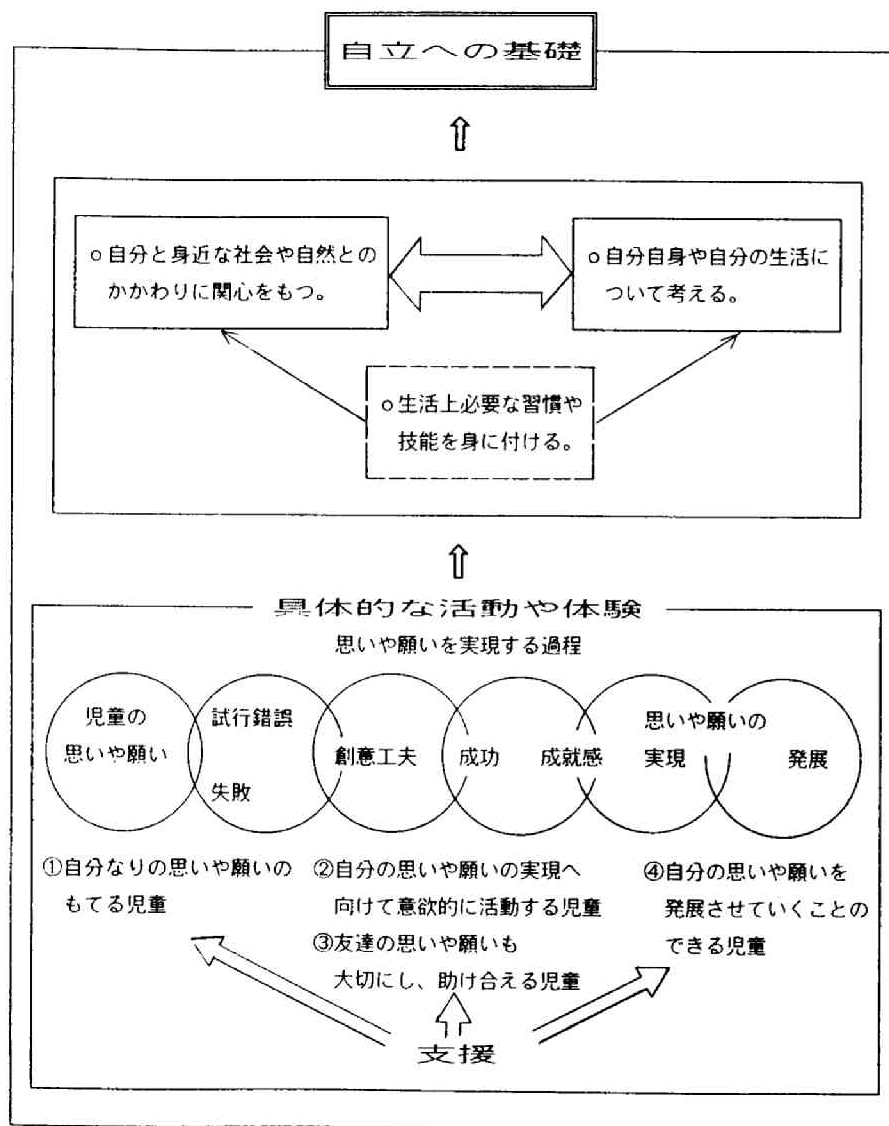
児童が「思いや願いを実現できる」かどうかは教師が児童をどのように理解し、どのよう

に支援していくか、という教師の姿勢にかかわってくる。

## 支援の在り方

一人一人の児童が、自分の思いや願いをもって実現に向けて活動する過程で、そのよさや可能性を十分生かしていけるように、教師が支え助ける行動を「支援」という。「支援」には、「見守る」「認める」「促す」「整える」などが考えられる。一人一人の児童理解に努め、これらの「支援」を一人一人の児童に応じて具体的に行うことを「支援の在り方」ととらえた。

生活科の目標と本研究との関連図



## Ⅱ 本研究で目指す児童像

「思いや願いをもつ」「活動する」「友達とかかわる」「発展させていく」の4つの観点から、本研究で目指す児童像を次のように設定した。

### ① 自分なりの思いや願いのもてる児童

自分の思いや願いが実現するということは、とても満たされた状態である。ぼんやりとした思いや願いが次第に明確になっていく場合もあれば、始めから強く明確な思いや願いをもつ場合もある。自分の思いや願いがもて、それが明確になれば、その実現へ向けて、意欲的に活動できる。身近な社会や自然といった環境や、それらと触れ合った活動の中から、「ぼくもやってみたいな。」「わたしは、こうやりたいな。」と、まず自分の思いや願いのもてる児童であってほしい。

### ② 自分の思いや願いの実現へ向けて意欲的に活動する児童

自分の思いや願いを実現するためにはどうすればいいのか、実現へ向けて努力する過程を大切にしていきたい。自ら考え、試行錯誤していく中で、ときには挫折をしながらも、「楽しいな。」「こうやるとうまくいくな。」「がんばろう。」と、思いや願いの実現へ向けて意欲的に活動する児童であってほしい。

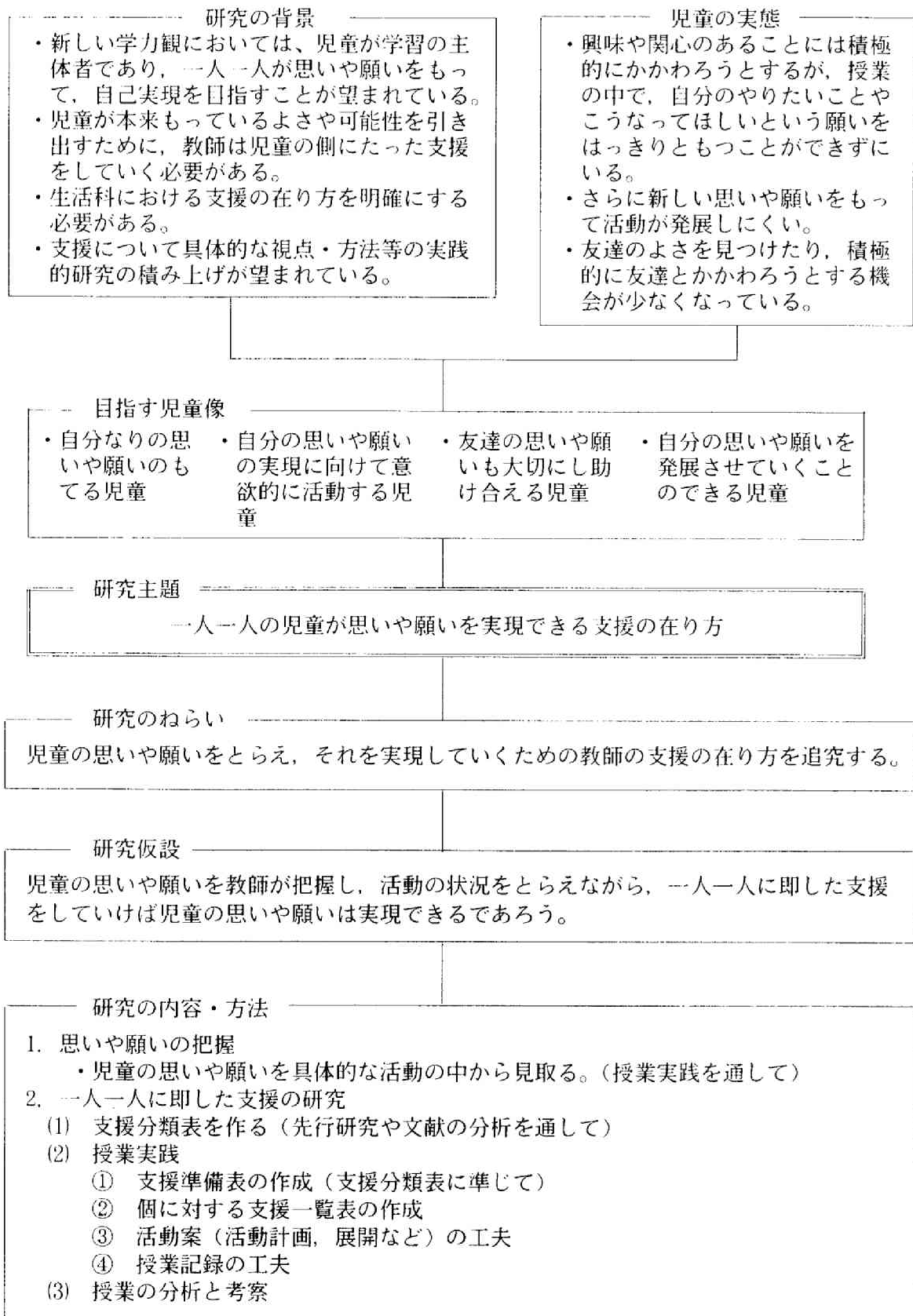
### ③ 友達の思いや願いも大切にし、助け合える児童

友達とよいかかわりをもてるということは、児童の身近な社会の中でとても重要なことである。低学年の児童であるから、自分の思いや願いを実現していくことに夢中にはなるが、その中で次第に周りにも目を向け、「いっしょにやろうよ。」「こうやるとうまくいくよ。」「じゃうずだね。」と、お互いに助け、認め合える児童であってほしい。そして友達を認めていく中で、自分のよさにも気付いていってほしい。

### ④ 自分の思いや願いを発展させていくことのできる児童

自分の思いや願いへ向けて努力し、それが実現したとき、その先へ「こんどはあれがしたいな。」「これができたのだから、きっとこんなこともできるな。」「次はこんなふうにしてみようかな。」「またやってみたいな。」と、思いや願いを次へ、他方へ、と発展させ、広げていくことのできる児童であってほしい。

### Ⅲ 研究の全体構想





## IV 研究の内容・方法

### 1 思いや願いの把握

生活科の活動を展開していく上で、その根底となるものが児童理解である。児童一人一人の性格や特長、思いや願いといった児童の内面をつかみ、理解していくことが最も大切である。そのためには、児童一人一人の日常の行動や言動、表現された作品など目に見えるものを手掛かりにして児童の内面に迫るようにする。

#### ○ 児童の性格や特長をつかむ

生活科の活動中はもちろん、日常的な活動の中から一人一人の児童のよさや行動の傾向、考え方などをつかみ記録する。

#### ○ カードや質問紙からつかむ

活動前あるいは活動中に児童が直接書いたものによって児童の思いや願いをつかむ。

#### ○ 活動の様子から見取る

活動中の児童のつぶやきや表情、活動の意欲や態度などを見逃さず、その奥に潜む児童の思いや願いをつかみ記録する。

#### ○ 児童と一緒に活動してつかむ

児童とともに活動する中で、児童に話しかけたり、児童の話を聞いたりしながら、児童の思いや願いをつかむ。

#### ○ 児童の作品から見取る

児童が直接表現した作文、絵や作品、児童の発表などから、児童の思いや願いをつかみ記録する。

以上のような方法により、一人一人の児童の記録を整理し、一覧表にして活動中の支援に生かすようにする。例は19ページ(2)②を参照。

### 2 一人一人に即した支援の研究

#### (1) 支援分類表を作る

本研究で設定した4つの目指す児童像を縦軸に、支援を横軸においた表枠を作り、先行研究や文献の中から支援と考えられるものを洗いだしてあてはめ、支援分類表を作成した。

ここでは、支援を児童に直接働きかけるものだけでなく、物や人、時間、場などの環境の構成も含めて考え、児童に対する支援（個に対する支援、全体に対する支援）と環境の構成に分けて分類した。

支援分類表

| 児童に対する支援                                                   |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                       | 環境の構成<br>(物、人、時間、場など)                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す<br>見よう                                                 | 個                                                                                                                                                                     | 全体                                                                                                                    |                                                                                                                                                                    |
| も 自<br>て思分<br>るいな<br>児やり<br>童願の<br>いの                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○認める</li> <li>○共に活動する</li> <li>○促す</li> <li>○見守る</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○共に活動する</li> <li>○発表し合う場を設ける</li> <li>○今までの経験を想起する場を設ける</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な環境からの教材の構成</li> <li>○資料の用意（提供）</li> <li>○道具の提供</li> </ul>                                                               |
| 的 自<br>に実分<br>活現の<br>動に思<br>す向い<br>るけや<br>児て願<br>童意い<br>欲の | <ul style="list-style-type: none"> <li>○賞賛する</li> <li>○共感する</li> <li>○認める</li> <li>○共に行動する</li> <li>○教える（安全面等）</li> <li>○励ます</li> <li>○相談にのる</li> <li>○見守る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○認める</li> <li>○発表の場を設ける</li> <li>○見通しをもてるようにする</li> <li>○児童の活動を紹介する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動しやすい場の設定</li> <li>○十分な活動時間の確保</li> <li>○安全への配慮</li> <li>○材料、用具の準備</li> <li>○保護者への協力の依頼</li> <li>○活動に応じたグループ分け</li> </ul> |
| 助 友<br>け願達<br>合いの<br>えも思<br>る大い<br>児切や<br>童に<br>し          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○促す</li> <li>○賞賛する</li> <li>○見守る</li> </ul>                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○促す</li> <li>○賞賛する</li> <li>○励ます</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の作品の掲示（情報の提供）</li> <li>○活動に応じたグループ分け</li> <li>○（友達と）かかわりがもてる場の設定</li> </ul>                                              |
| こ 自<br>と発分<br>の展の<br>でさ思<br>きせい<br>るてや<br>児い願<br>童くい<br>を  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○賞賛する</li> <li>○認める</li> <li>○見守る</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の場を設ける</li> <li>○情報を提供する</li> <li>○活動を振り返る場を設ける</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動しやすい場の設定</li> <li>○材料、用具の準備</li> <li>○資料の提供</li> <li>○児童の作品の掲示（情報の提供）</li> </ul>                                         |

支援分類表の具体化

| 児目<br>童指<br>像す                                                                         | 児童に対する支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 環境の構成<br>(物・人・時間・場など)                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                        | 個                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 全 体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 自分<br>なり<br>の<br>思<br>い<br>や<br>願<br>い<br>の<br>も<br>て<br>る<br>児<br>童                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・促す「〇〇君のは、おもしろそうだよ」「～では、どうかな」</li> <li>・相談にのる「どんなことがしたいの」「～ということかな」</li> <li>・気付くようにする「〇〇君、汗びっしょりだよ(夏の様子)」</li> <li>・共に活動する</li> <li>・励ます「楽しそうだね」</li> <li>・賞賛する「いい考えだね」</li> <li>・認める「～がしたいんだね」</li> <li>・見守る</li> </ul>                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(前活動で)次の活動に期待をもてるようにする</li> <li>・発問する(気付くようにする)「どんなあそびがしたい?」「どんなときに夏を感じる?」</li> <li>・さっかけ作りを工夫する「雨の日に外で遊んでみよう」</li> <li>・今までの活動を想起できるようにする「どんな遊びをしたことがある?」「一年のとき、どんなことした?」</li> <li>・発表し合う場を設ける「〇〇さんが、こんなことをしたいそうです」</li> <li>・道具などを用意するよう促す</li> <li>・共に活動する</li> <li>・思いや願いを表現する場を設ける(〇〇カート)</li> <li>・思いや願いを把握する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境からの教材の構成</li> <li>・生活の中からの取り上げ</li> <li>・雰囲気作り(掲示・環境)</li> <li>・道具の提供</li> <li>・資料の提供(図鑑・写真等)</li> <li>・児童の作品の掲示</li> <li>・保護者への協力の依頼</li> </ul>                                    |
| 自<br>分<br>の<br>思<br>い<br>や<br>願<br>い<br>に<br>活<br>動<br>実<br>現<br>す<br>る<br>児<br>童      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・促す「どんなお団子を作るのか教えて」</li> <li>・相談にのる「～したかったんじゃないの?」「どうしたの」</li> <li>・教える「こういうつなぎ方もあるよ」「こうやると危ないよ」(安全面)</li> <li>・共に活動する</li> <li>・共感する「おもしろいね」「おいしいね」「そうだね、どろってぐちゃぐちゃだね」</li> <li>・励ます「頑張って作ってね」</li> <li>・賞賛する「すごいことがわかったね」「よくできたね」</li> <li>・認める「すごいのができたね」(思い・考えを聞いて)「そうなの。いいわ」</li> <li>・見守る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや願いを受けとめる</li> <li>・見通しをもてるようにする「どんなものができそうかな」「発表の時間は～位です」</li> <li>・児童の活動・作品を紹介する「～している人もいます」「〇〇さんは、こんなことしているよ」</li> <li>・発表・話し合いの場を設ける</li> <li>・情報を提供する</li> <li>・カードを用意する</li> <li>・認める</li> </ul>                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動しやすい場の設定</li> <li>・十分な活動時間の確保</li> <li>・安全への配慮(道具・使い方等)</li> <li>・材料・用具の準備</li> <li>・保護者への協力の依頼</li> <li>・活動にかかわる人への協力の依頼(店の人・主事さん等)</li> <li>・雰囲気作り</li> <li>・活動に応じたグループ分け</li> </ul> |
| 友<br>大<br>達<br>切<br>の<br>に<br>思<br>い<br>助<br>や<br>け<br>願<br>い<br>え<br>も<br>る<br>児<br>童 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・促す「一緒にやってみたら?」「教えてあげたら?」「一緒に作戦考えてみたら?」</li> <li>・気付くようにする「〇〇君、困ってるよ」</li> <li>・他の児童の様子を知らせる「〇〇君が知ってるよ」「〇〇君はこんな遊びをしていたよ」</li> <li>・賞賛する「〇〇さん(グループ)えらいなあ」「〇〇君と上手に作ったね」</li> <li>・認める「〇〇先生、教え方が上手だね」「〇〇さんに教えてもらってよかったね」</li> <li>・見守る</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・促す「力を合わせて頑張ろうね」「友達に教えてあげよう」</li> <li>・友達の思いや願いを知らせる場を設ける</li> <li>・賞賛し、気付くようにする「～グループは、力を合わせているよ」「〇〇さんは、教えてあげているよ」</li> <li>・友達の頑張り(よさ)を知らせる</li> <li>・励ます</li> </ul>                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に応じたグループ分け(協力できるような)</li> <li>・雰囲気作り</li> <li>・児童の作品の掲示(情報の提供)</li> <li>・材料・用具の準備</li> </ul>                                                                                           |
| 自<br>分<br>の<br>思<br>い<br>や<br>願<br>い<br>を<br>発<br>展<br>す<br>る<br>児<br>童                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・促す「またやってみたいね」</li> <li>・共感する「楽しかったね」</li> <li>・気付くようにする「他にどんなことができるかな」「〇〇君は、すごかったね」</li> <li>・賞賛する「工夫したね」「頑張ったね」</li> <li>・認める「こんなこともできるんだね」</li> <li>・見守る</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返る場を設ける</li> <li>・お互いの活動を認め合う場を設ける</li> <li>・発表の場を設ける</li> <li>・気付くようにする「作ったものは、どうしようか」「〇〇君が今度は～してるよ」</li> <li>・継続した活動を促す「〇〇さん、ずっと世話をしてるね」「もっと秋を見つけようね」</li> <li>・情報を提供する「牛乳パックはリサイクルできるよ」「十五夜は30日です」</li> <li>・次にしたいことを表現する場を設ける</li> </ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動しやすい場の設定</li> <li>・材料・用具の準備(継続的に)</li> <li>・資料・情報の提供</li> <li>・児童の作品の掲示</li> <li>・環境作り</li> <li>・保護者への活動の様子の紹介</li> </ul>                                                              |

## (2) 授業実践

### ① 支援準備表の作成

単元を通して育てたい児童の姿と、(1)の分類表に照らし合わせて、支援準備表を作る。

例は19ページ(2)①を参照。

### ② 個に対する支援一覧表の作成

支援準備表をもとに、児童の実態・単元で育てたいこと・児童の思いや願いを考慮した一人一人への支援一覧表を作る。例は14ページ(2)②、19ページ(2)②を参照。

例

|   | 児童の実態・この単元で育てたいこと                       | 児童の思い・願い       | 支援計画                          |
|---|-----------------------------------------|----------------|-------------------------------|
| A | 自分の思いを表現するのが苦手。思いを引き出し実現することで、自信をもたせたい。 | 大きい船をつくりたい。    | 不安になった時励ます。大きい船ができたならほめる。     |
| B | 意欲的に取り組む。友達と協力し合う場面でも、意欲的に取り組めるようにしたい。  | みんなで楽しい会にしたいな。 | グループの中で協力しながら活動している場面を認め、ほめる。 |
|   |                                         |                |                               |

### ③ 活動案の工夫

「作ってみたい」「やってみたい」「探してみたい」といった様々な児童の思いや願いをもとに、一人一人が思いや願いの実現に向けて活動が展開されなければならない。そこで、活動計画・展開案では、児童の意識の流れを大切にしながら活動内容を構成し、活動の流れを視覚的にとらえられるように工夫する。さらに、支援一覧表をもとに、本時の展開の中に環境と個々の支援計画を入れる。例は15ページ6(4)、21ページ6(4)を参照。

### ④ 授業記録の工夫

#### ○ 観察者による工夫

- ・児童の活動や、目指す児童像に迫るための支援と有効性を観察対象児について記録し観察者が表情や行動を読み取って、支援が有効であったか判断する。

| 児童の活動（学習の流れを含めて） | 思い | 意欲 | 協力 | 発展 | 教師の支援（全体・個） |
|------------------|----|----|----|----|-------------|
|                  |    |    |    |    |             |

・全体の流れの中で、支援（全体・個）と児童の変容を記録する。

|                 |    |    |    |    |   |
|-----------------|----|----|----|----|---|
| 活動の流れ           |    |    |    |    | ⇒ |
| 教師の支援と<br>児童の変容 | 全体 | 全体 | 全体 | 全体 | ⇒ |
|                 | 個人 | 個人 | 個人 | 個人 | ⇒ |

**宝物いっぱいのお秋**

(1:40)

**〔子供の活動〕**

|                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                   |                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <p>00-05</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の持ってきたものを取りだしてみる子(多数)</li> <li>図鑑や本で調べる子</li> <li>友だちと話したり、見せ合ったりしている子</li> </ul> | <p>05-10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち葉を画用紙にはる子</li> <li>木の葉を虫めがねで見ろ子</li> <li>カマヤリを虫めがねで見ろ子</li> <li>リングのスケッチをする子</li> <li>図鑑や本で見ている子</li> </ul> | <p>10-15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックを虫めがねで見ろ子</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|

**〔支援のポイント〕 (感想)**

一人一人の活動を的確に把握しているの、児童の思いに沿った支援ができていた。児童も自分の活動に集中していた。

**〔活動の流れ〕**

本時のめあてをもつ 各自の計画にそって活動を進める

**〔教師の支援〕**

|                                                                                                                                                  |                                                                                                                          |                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>全体</b></p> <p>板書「秋さがしたんげんたい」(1時間め)</p> <p>用意してきたもので、自分のやりだすことを進める。始めよう。</p> <p>木くしものを取ってきた子に</p> <p><b>個別</b></p> <p>対応する。(画用紙、虫めがねなど)</p> | <p><b>全体</b></p> <p>木を調べた子に、もっと活動を進めるように促す。(外へ見に行くと)</p> <p>個時計を指してきた子(この子は学校別のいろいろな所の温度を計っている)</p> <p>へカードを書くよう指示する</p> | <p><b>全体</b></p> <p>草花の絵を描いた子に、「いー君用紙か」「感想」を書くことを指示する。</p> <p>個々でどんぐりやおもちゃを作る計画の子と別内たちとどんぐりを持ってこれなかった子で、先生を使って作るように指示する。(例、取寄せ、工作など)</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### (3) 授業の分析と考察

一人一人に即した支援の在り方を明らかにするために、個に対する支援計画をもとにした実際の支援活動と児童の具体的な変容を授業を通して分析するようにした。さらに児童の変容をある一時間の児童の様子(行動、発言、表情、つぶやき、態度、雰囲気など)の記録からだけでなく、単元を通しての児童の様子や作品、作文、自己評価、相互評価から長期的、多角的にとらえるようにした。

支援準備表や支援一覧表から実際に行った支援で、児童の具体的な変容があったものについて支援分類表を見直すようにした。

## V 実践事例

### 第 1 学 年

「虫をさがそう」という活動の中で思いや願いを実現する支援の例

#### 1 単元名

第 1 学年「秋と思いっきり遊ぼう」

#### 2 単元のねらい（本単元は学習指導要領 1 年の内容(3)、(4)、(5)で設定）

- ・ 自然の変化に関心をもって秋を見つけたり、公園で遊んだりし、木の葉や実を使って、楽しく遊んだり作ったりすることができるようにする。
- ・ 友達と共に見つける、遊ぶ、作り出す等の活動を通して、友達のよさや自分の可能性に気付くことができるようにする。

#### 3 単元について

児童の生活実態を見ると、外遊びよりコンピューターゲームを好み、児童同士で夢中になって遊ぶ事が少なくなっている。また、日常生活の中で自然や四季を体感する経験に乏しく遊びを工夫する楽しさも味わえなくなっている。そこで、一学期から自然を体感できる活動を重視してきた。児童は、アサガオの変化や友達が家族と採ってきたススキ・ドングリや朝夕聞こえてくる虫の声等から秋の訪れを感じている。そうした中、虫好きな男の子たちが、帰宅後の遊びの中で偶然見つけた虫の国（近くの空地）。「みんなに教えてあげるから行こうよ。」と呼びかけた「秘密基地」探検を糸口に、活動を展開することにした。そうすることで自分の身の回りの秋見つけへの思いが広がり、夏に行った近くの公園での遊びの中で見つけた生き物や様々な人々に、「また会えるかな？」「また遊びに行きたいな」という思いを育てることで、秋見つけへの思いが深まっていく。そして、思う存分秋を満喫して遊ぶことで、秋を利用した遊びや製作活動への思いや願いが高まっていくものと考えた。

#### 4 研究主題とのかかわり

##### (1) 本単元で育てたい児童の姿

本研究で目指す児童像をさらに具体的なものにするために、本単元で育てたい児童の姿を設定した。

- ① 虫探しや植物に関心を広げ、秋見つけを楽しみたいという思いがもてる児童

- ② 木の葉や実などの自然を使って、遊んだり作ったりして楽しめる児童
- ③ 遊びや作る活動の中で工夫をしたり、自然を生かした生活の楽しみ方ができる児童
- ④ 友達のよさや自分の可能性に気付くことができる児童

(2) 本研究で目指す児童像に迫る手立て

① 支援準備表

- 自分なりの思いや願いのもてる児童    ◎自分の思いや願いの実現に向けて意欲的に活動する児童    ♥友達の思いや願いも大切に助け合える児童    ※自分の思いや願いを発展させていくことのできる児童

| 活動計画         | 児童の活動                                                                                                                                                                                                     | 児童に対する支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 環境構成の支援                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              |                                                                                                                                                                                                           | 個                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 全体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 物・人・時間・場・等                                                                                                                                                                                                                                              |
|              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・採ってきた虫やススキや栗などの場所を紹介する。</li> <li>・担任やクラスの人々を秘密基地へ連れて行きたくなり、一緒に行こうと提案する。</li> </ul>                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○見付けてきた児童たちを賞賛する。</li> <li>○見付けてきた児童の思いをクラス全体へ広げる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的な面や安全面を確認して決定する事を告げる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の会でのニュースを紹介する場を活用する。</li> <li>○採ってきた虫の家作りをし植物は部屋に飾る。</li> </ul>                                                                                                                                                |
| ひみつきちで虫をさがそう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・秘密基地で虫探しをする。</li> <li>・情報交換をする</li> <li>・もう一度挑戦する。</li> <li>・次事のめあてをもつ。</li> <li>・学校や通学路や公園で見付けた秋を紹介する。</li> <li>・友達の秋の他にも秋を見付ける</li> <li>・見付けた事を教え合う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○虫採り名人たちに道案内を依頼する。</li> <li>○虫をつかまえられた児童を賞賛する。</li> <li>◎虫採り名人に教えてもらう。</li> <li>◎♡虫に触れない児童や探せない児童には、名人や担任と一緒に手伝う。</li> <li>※草遊びを始めた児童を賞賛し、一緒に遊ぶ。</li> <li>※自分の身の回りで秋を見付けている児童を賞賛する。</li> <li>◎見付けた秋の場所へ案内し紹介してくれたことを賞賛する。</li> <li>◎見付けた秋を賞賛する。</li> <li>◎見付けた秋を賞賛する。</li> <li>※◇◇公園で見付けた秋を紹介する児童をみんなに教える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○虫採り名人たちに道案内を依頼する。</li> <li>○虫をつかまえられた児童を賞賛する。</li> <li>◎虫採り名人に虫採しのポイントを説明してもらったり質問コーナーで疑問を明らかにする事で、虫の住家など特性に気付けるようにする。</li> <li>◎教えてもらったことを基に再挑戦するように促す。</li> <li>※草遊びを始めた児童をみんなに紹介し、草へも活動が広がるように促す。</li> <li>※草遊びが出ないときは、担任がやってみせ植物にも目が行くように促す。</li> <li>※自分の身の回りへ視点が広がるように促す。</li> <li>○◎友達の秋の他にも秋を見付けられるように促す。</li> <li>◎秋を紹介されたり、歩きながら秋を見付けたりすることで、身近な所に秋がたくさんあることに気付けるようにする。</li> <li>※一学期に遊んだ公園はどうなっているのか秋見つけへの意欲が持てるようにする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急道具を持ち、行き帰りや現地での安全面に気をつけて行動するに指導する。</li> <li>○虫採り網やかご等、持っていきたいという要望があれば認める。</li> <li>◎※情報交換の場を設ける。</li> <li>○◎一年生なので、学校・通学路・公園を秋見つけの場所にす</li> <li>・行き帰りや現地での安全面に気をつけるよう指導する。</li> <li>◎※情報交換の場を設ける。</li> </ul> |



② 本時の支援一覧表

| 児童名 | 先行経験・児童の実態・活動で育てたい姿                                       | 児童の思い・願い                  | 支援計画                     |
|-----|-----------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------|
| A 児 | はっぱのスタンプ。経験に乏しく怖がり、生き物にほとんど触れない。虫をつかまえることで自信をつけ、どんどん挑戦する。 | バッタとりがしたい。                | 見守り、励まししながら、虫に触れるように手伝う。 |
| B 児 | 虫採り・はっぱの絵。虫採り名人で大の虫好き。虫博士の力を発揮し、友達を助けると共に、植物にも目を向ける。      | コオロギをいっぱいつかまえない。バッタも採りたい。 | 友達への援助を促す。               |
| C 児 | どんぐりごま・はっぱの絵。おとなしく追従方で、経験に乏しい。虫をつかまえることで自信をつけ、自分でつかまえる。   | 虫採り。                      | 見守るが、虫に触れなければ手伝う。        |
| D 児 | 経験豊か。何事にも意欲的で、発想が豊かである。虫に対する気付きを深めると共に、植物とかかわり友達に広める。     | 虫採り。秋のどんぐりや草やはっぱを見つけたい。   | 見守る。植物を見つけたら貸す。          |

5 活動計画 秋と思いきり遊ぼう (12時間)

先生、バッタとコオロギつかまえてきたよ。 → 秘密基地に、いっぱい → 教えてあげるから、みんなで行こうよ。

(1) ひみつきちで、虫をさがそう。 (3 時間)

・虫探しをする。 (1 時間) …… 本時

家の前にもバッタがいたよ。学校に来る時、ススキを見つけたよ。栗が落ちてたよ。涼しくなったよ。みんなで友達のお薦めを見に行きたいね。

・学校、通学路、近くの公園で、見つけた秋を教えよう。 (2 時間)

〇〇〇公園は、夏と同じかな。行ってみようよ。

(2) 〇〇〇公園で、秋を見つけよう。 (4 時間)

・秋見つけをする。 ← → ・みんなと遊ぶ。

・見つけた秋を教え合う。

木の葉や実を持って帰って、何か作りたいな。作って遊んでみたいな。虫も連れて帰りたいな。

(3) 秋のおくりものを使って、作ろうよ、遊ぼうよ。 (5 時間)

・木の葉や実で作ったり、遊んだりする。

はり絵 ・ こま ・ 笛 ・ やじろべえ ・ ダーツ ・ けんだま ・ スタンプ ・ 洋服 ・ 身に付ける飾り ・ 部屋の飾り ・ しおり  
トントンずもう ・ 楽器

・作ったものを紹介する。

もっと工夫してみよう。

友達のもやってみたいな。

(4) 発展

家でもやってみよう。

2年生と一緒に周年のお祭りをしよう。

学級活動で決めたお祭りに、お店を出そうよ。



## 6 本時の展開

### (1) 小単元名

第1次「ひみつきちで、虫をさがそう。」(1/12時)

・虫さがしをする(1/3時)

### (2) 本時のねらい

友達と仲よく虫を見つけることができる。

### (3) 評価規準

関心・意欲・態度……虫さがしを楽しくやっている。

思考・表現……友達に教えてもらったことなどをヒントにして、虫さがしをしている。

気付き……虫がどんな場所にいるのか気付く。

### (4) 本時の活動計画

○自分なりの思いや  
願いのもてる児童

◎自分の思いや願いの  
実現に向けて意欲的  
に活動する児童

♡友達思いや願い  
も大切に助け合  
える児童

※自分の思いや願い  
を發展させていく  
ことのできる児童

| 児童の<br>活動           | 児童の思い・願い                                                                                                                                                                        | 教師の支援・等                                                                                                                                                                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①<br>今日のめあてをもつ      | <div>虫はどこに<br/>いるのかな。</div> <div>どんな虫が<br/>いるのかな。</div> <div>たくさんみつ<br/>けられるかな。</div> <div>何匹つかま<br/>えられるかな。</div> <div>コオロギを<br/>さがすよ。</div> <div>バッタを<br/>つかまえた<br/>いな。</div> | <p>○基地で何をしたいのか確認し励ますこと<br/>で、虫さがしへの意欲が持てるように<br/>にする。</p> <p>・交通安全に気をつけるよう指導する。</p> <p>・救急道具とセロテープを持っていく。</p>                                                                     |
| ②<br>虫さがしに挑<br>戦する  | <div>どこかな。</div> <div>いるのかな。</div> <div>ワー いた<br/>いた。</div> <div>にげられ<br/>ちゃったよ。</div> <div>つかまえたよ。</div> <div>いいなあ。<br/>みつかないよ。</div>                                          | <p>○自由に虫探しに挑戦できるように、活<br/>動を見守る。</p> <p>○同じ場所に固まらず、いろいろな場所<br/>で探すように促す。</p> <p>・安全に気を付けるように指導する。</p> <p>◎虫を見つけた児童やつかまえた児童を<br/>賞賛する。</p> <p>・けがをした際、手当てをして安心感が<br/>もてるようにする。</p> |
| ③<br>虫とり名人の<br>話を聞く | <div>コオロギはね、<br/>石をどかすと<br/>いるよ。</div> <div>バッタはね。<br/>草のところだよ。</div> <div>石のところを<br/>さがせば<br/>いいんだ。</div> <div>にげるから、<br/>こうやって<br/>つかまえるんだよ。</div> <div>どうやってつかまえるの。</div>    | <p>◎虫とり名人の説明を聞くことで、虫の<br/>習性をつかみ、みつけるポイントに気<br/>付くようにする。</p> <p>◎質問コーナーを設け、虫とりのこつ等<br/>の情報交換の場をもつ。</p> <p>◎再挑戦に意欲がもてるように、自分が<br/>困ったことを質問できるようにする。</p>                            |

|                                |                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>④<br/>もう一度虫さがしに挑戦する</p>     | <p>ようし、〇〇ちゃんの言ったところをさがそうと。</p> <p>こんどはさがせるかな。</p> <p>ほんとだ。みつけたよ。</p> <p>ワーイつかまえたよ。</p> <p>〇〇ちゃんいっしょにみつけてね。</p> <p>あれ、くっつき虫だ。</p> <p>ねこじゃらしでひげつくっちゃった。</p>    | <p>◎一人で不安な児童には、名人の助けが♡得られるように、名人に依頼する。</p> <p>◎なかなか捜せない時は、上手な児童に♡教えてもらいながら探すように促す。</p> <p>◎虫に触れない時は、担任が手をかす。</p> <p>※草遊びを始めた児童がいたら、全体へ紹介し、やりたい児童には遊びを続けるよう促す。</p> <p>※草に目がいけないときは、担任が遊び方を教える。</p> |
| <p>⑤<br/>見つけたことでできたことを発表する</p> | <p>〇〇で〇〇をみつけました。</p> <p>〇〇をびきつかまえたよ。</p> <p>つかまえようとしたら、ピョンピョンにげてわかんなくなっちゃった。</p> <p>虫にさわれたよ。</p> <p>くっつき虫遊びができた。</p> <p>もっとやりたいなあ。</p> <p>みんなと、いってみたいなあ。</p> | <p>○虫さがしに自信がつくよう賞賛する。</p> <p>○虫だけでなく、草遊びも楽しかったことを紹介する。</p> <p>○学校や通学路、そして近くの公園で、※秋の虫や植物を見つけたことのある児童の発表により、身の回りへと視点が広がるように促す。</p> <p>※自分の身近な場所にも秋を見つけにきたいという意欲をわかせ、次時へつなぐ。</p>                     |

わくわくカード (C児の例)

情報交換の場

- T. どうしてつかまえられなかったの？
- C 1. どこにいるかわからない。
- C 2. 小さくてすぐにげちゃうから。
- T. 虫博士に聞いてみようか。  
どんなところにいるの？
- C 3. ハーイ。
- C 4. バッタは、草ボーボーのところか  
葉っぱの裏にいるよ。
- C 5. コオロギは、土のところで、石の下とか、  
暗いところだよ。
- T. そういう所を探せば、すぐみつかるのね。
- C 6. でもね、バッタは葉っぱとか色が似てるから、  
よく見なきゃだめだよ。コオロギは茶色だよ。
- T. よく見ないと分からないんだ。すごいね。  
他にも教えてもらいたいことがありますか？

(雨天時)

わくわくカード

あきち、こなたけい  
あきちでせよといひさうおし  
ました。さあちゃんとかうさし  
でよそんごのうさ。だてす  
ねつじりしてめすらしいなう  
らにおつていきました。うさ  
てかえるよ、やがてうれしか  
で。いんちんがねていんち  
ていなをしてびっくりしました。

(晴天時)

わくわくカード

あきち、こなたけい  
あきちでまつさきくん  
と、バッタにとりとしまし  
た。バッタをいじめて  
と、うれしかたです。  
こおっきのこえりされ  
いてじつた。

あきち、こなたけい  
いんちんがねていんち  
です。

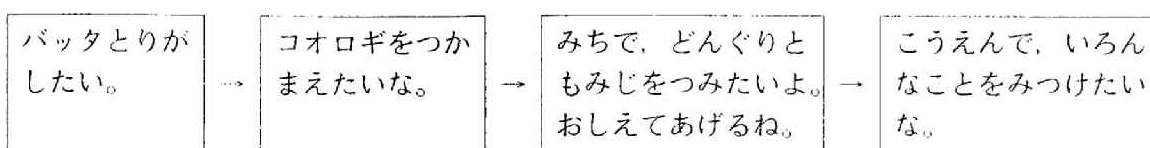
あきち、こなたけい  
あきちでせよといひさうおし  
ました。さあちゃんとかうさし  
でよそんごのうさ。だてす  
ねつじりしてめすらしいなう  
らにおつていきました。うさ  
てかえるよ、やがてうれしか  
で。いんちんがねていんち  
ていなをしてびっくりしました。

## 7 実践を振り返って

### (1) 思いや願いの把握

まず、先行経験のアンケート調査をした。次に、秘密基地に行く事になったので、そこで何をしたいか聞き取り調査をした。本単元の活動に入ってから「わくわくカード」に体験したことや次への思いや願いを記入させることによって、次への意欲や目的意識をもたせることができた。また、教師にとっても児童の実態を把握し、次への環境の構成や個人に対する支援を明確にすることができた。

(例) A児の思いや願いの変化



### (2) 一人一人に即した支援

#### ① 観察対象児の分析

B児の場合…道案内や虫採り名人として情報交換の場に登場することで、意欲的に活動し友達への援助も積極的に行った。

#### ② 環境の構成と全体への支援の分析

##### ・ 児童が発見した環境の活用

虫好きな男の子たちが、帰宅後の遊びの中で偶然に見付けた秘密基地。その話を朝の会で聞き、皆で行こうということになった。先頭に立って案内する児童たちは意気揚々、案内される児童たちは期待に満ち溢れていた。

##### ・ 情報交換の場の設定

虫を探せない児童のために、虫採り名人を活躍させる場を設けて質問に答えたり、自分の経験による説明を付け加えたりしたことで、虫探しに再挑戦する視点が明確になり、虫を探す姿や目の高さが低くなった。それによって、全員が虫をつかまえることができた。

### (3) 今後の課題

- ・ 一人一人をよく理解し、活動計画を吟味し、思いや願いの変容を見取りながら活動が高まったり深まったりするような声かけや助言をすることが、支援する上で大切である。
- ・ 環境の構成をいかに支援するかによって活動の質に差が生じるので、十分に配慮する。
- ・ 天候に左右される単元の環境の設定については、取り扱う時期や児童の思いや願いを実現できる状況になっているかなど、難しさが残った。

## 第 2 学 年

「いろいろな秋を調べたい」という多様な活動の中で、思いや願いを実現する支援の例

### 1 単元名

第2学年「宝物いっぱいのおもちゃ」

### 2 単元のねらい

秋を体感する活動を通して、季節の変化や地域の生活に関心を持ち、自分なりに気付いたことを追究し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりすることができるようにする。

### 3 単元について

生活の変化に伴って、児童は季節を敏感に反応する機会を失いつつある。しかし、諸感覚を使って周りを見ると、季節を感じる物はたくさん存在する。特に「秋」は、児童にとって興味がわきやすい季節といえよう。児童は、1年生の時の秋を体感する活動から、様々なことに気付いたり、できるようになったことが増え、満足感も味わっている。

しかし、体験の中から新たに「どうしてだろう」「どうなっているのだろう」という課題が生まれてきた。そこで、2年生の秋とかかわる活動では、自分なりの課題を追究していく活動を取り入れた。新しいことを知ったり、自分なりの課題が分かったりする喜びを経験することによって、さらに自然の見方も深まり、自然と積極的にかかわっていく実践的な態度が育っていくものと考えた。この活動を通して、自然や暮らし方の変化を感じ取れる感性の豊かな児童を育てたいと考え、本単元を設定した。

なお、この単元の内容は、学習指導要領の第2学年の内容(3)〔季節や行事〕をもとに設定している。また、内容(5)〔動植物の飼育・栽培〕とも関連している。

### 4 研究主題とのかかわり

#### (1) 本単元で育てたい児童の姿

本研究で目指す児童像をさらに具体的なものにするために、単元のねらいと関連させて本単元で育てたい児童の姿を設定した。

- ① 身近な環境に興味をもち、季節の変化を感じとれる児童
- ② 植物を大切に育て、成長や収穫を楽しみにできる児童
- ③ 自分なりに課題に取り組み、見いだしたことをいろいろな方法で表現できる児童

- ④ 季節のよさや地域のよさに気付ける児童
- ⑤ 自分なりに季節に積極的にかかわれる児童

(2) 本研究の目指す児童像に迫る手立て

① 支援準備表

| 児童<br>像<br>指<br>像<br>す                                                                 | 児童に対する支援                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                         | 環 境 の 構 成                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                        | 〔個〕                                                                                                                                                                                                                                                    | 〔全体〕                                                                                                                                                                                                                                                    | 物・人・時間・場など                                                                                                                                                                                                                                                |
| 自<br>願<br>分<br>い<br>な<br>の<br>り<br>の<br>も<br>の<br>で<br>思<br>え<br>る<br>い<br>児<br>童      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や1年生の経験を思い出すよう促す。</li> <li>・願いが明確になるように、質問する。</li> <li>・活動に向けての見通しを立てさせる。</li> <li>・活動前に児童が抱く問題点に対して、相談にのる。</li> </ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に秋探しをする。</li> <li>・1年生にやったことを想起させる。<br/>(カードを見る、写真を見る、思い出す)</li> <li>・思いや願いを表現させ、深めていく。<br/>(カード、発表、話し合い、体験する)</li> <li>・思いや願いを引き出す声かけをする。</li> <li>・安全面や礼儀等約束ごとの指導をする。</li> <li>・保護者から助言してもらう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭探検をする。<br/>(身近な環境から教材化)</li> <li>・自分が育てたものを料理する。<br/>(魅力ある教材)</li> <li>・自分で球根を買う。</li> <li>・活動のヒントになる資料を用意する。</li> <li>・活動の意欲をもつような環境を選ぶ。</li> </ul>                                                            |
| 実<br>現<br>に<br>向<br>け<br>た<br>活<br>動<br>で<br>意<br>欲<br>を<br>持<br>た<br>せ<br>る<br>児<br>童 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方の分からない児童には、教える。手をさえる。話を聞く。</li> <li>・自信のない子には、共に活動する。</li> <li>・活動に興味を示さない子には、めあてや計画を思い出させる。</li> <li>・達成感を持った子には、共感する。</li> <li>・自分なりに努力している子には、認める。賞賛する。</li> <li>・積極的に活動している子には、見守る。うなずく。微笑む。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを明確にし、活動の見通しをもたせる。</li> <li>・児童の思いや願いを受けとめ、さらに具体的な活動へと発展するよう促す。</li> <li>・諸感覚を使って、活動の楽しさを味わわせる。</li> <li>・個々の気づきを広げ、活動への意欲を高める。</li> <li>・活動を記録するカードを用意しておく。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋を体感しやすい安全で広い場で活動する。<br/>～セントラル～</li> <li>・名札を利用する。(自分の〇〇)</li> <li>・児童の願いが高まった時に活動を進める。「～したい」という声を待つ。</li> <li>・児童の必要とする材料や用具を準備しておく。(普段の教育活動でどこに何があるのかを知らせ、活用できるようにしておく。)</li> <li>・ねらいに応じたグループに分ける。</li> </ul> |
| 切<br>実<br>に<br>達<br>し<br>た<br>思<br>い<br>を<br>合<br>え<br>る<br>い<br>児<br>童                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の活動に関心をもたせる。</li> <li>・友達の味わった喜びや発見を共感できるよう促す。</li> <li>・友達のよさに気付くよう促す。</li> <li>・友達が努力している様子を、教師が賞賛する。</li> <li>・協力して活動している児童には、認める。</li> <li>・助け合っている姿を見守る。うなずく。微笑む。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の活動を紹介する。</li> <li>・児童相互で情報を交換させる。</li> <li>・一人一人の努力している姿を認め、全体にも知らせる。</li> </ul>                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の作品を掲示し、紹介する。</li> <li>・協力しあう場を設ける。</li> <li>・違いを認める温かい学級の雰囲気を作る。</li> </ul>                                                                                                                                    |
| 発<br>展<br>分<br>か<br>つ<br>た<br>思<br>い<br>を<br>合<br>え<br>る<br>い<br>児<br>童                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発想を認める。</li> <li>・できたこと、分かったことを賞賛し、次の活動への意欲を持たせる</li> <li>・活動が発展している児童には、活動を見守る。</li> </ul>                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展につながるめあてや計画の変更を認める。</li> <li>・活動を振り返らせる場を設ける。</li> <li>・活動のまとめを発表する場を設ける。</li> <li>・情報を提供する。</li> <li>・次にしたいことを表現させる。</li> <li>・日常生活で生かす工夫をする。</li> </ul>                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を提供する資料を準備する。</li> <li>・保護者にも活動状況や活動結果を報告し、家庭生活でも活動が生きていくよう配慮する。</li> <li>・活動が広がったりや深まったりするような道具・材料を準備しておく。</li> </ul>                                                                                          |

② 支援一覧表

| 児<br>童 | 児童の実態と育てたい姿 |    |    |    |                                     | 児童の思いや願い |                    | 支援計画                    |
|--------|-------------|----|----|----|-------------------------------------|----------|--------------------|-------------------------|
|        | 今までの活動状況    |    |    |    | 第2次(秋見つけ探検)の活動において育てたい児童の姿          | やりたいこと   | 実現するための手段          | 第2次(秋見つけ探検)の活動においての支援計画 |
|        | 思い          | 意欲 | 協力 | 発展 |                                     |          |                    |                         |
| A      | △           | △  | ○  | △  | 思いや願いを明確にもち、自分の考えで行動する              | 球根で育つ花調べ | 花壇でインタビュー、買う、観察、図鑑 | 励ます、相談にのる、助言する          |
| B      | ○           | △  | ○  | ○  | 感性豊かな表現力を生かして活動への意欲をもち、季節への関心の幅を広げる | 秋の花探し    | 探す、観察する、名前を調べる     | 活動が深まるよう促す、賞賛する         |
| C      | △           | ○  | △  | ○  | 虫博士の力を発揮し、友達と協力しあって、表現力をつける         | 虫(バッタ)   | 探す、飼いを調べる、図鑑を見る    | 見守る、共感する、話を聞く           |
| D      | ◎           | ◎  | ◎  | ◎  | 思いや願いを実現する手立てを考え、さらに発展させる           | 葉っぱの色の変化 | 調べる木を決めて、毎日観察する    | 見守る、気づきを深める言葉かけ         |

## 5 活動計画〔全18時間〕

### 別紙3〔活動計画〕

○活動のきっかけ

#### 〔前単元との連続〕

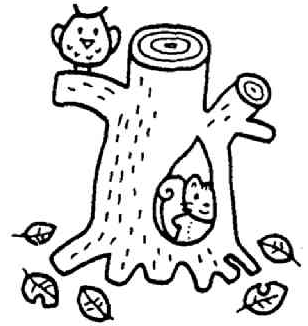
学校の子供祭りである「すぎな祭り」にこのクラスの子は、「自然工作ショップ」というお店を出した。ドングリのおもちゃ、木の葉のバッチ、ススキの人形、まとあてなどの材料集めで、あちこちを採集して秋の自然物を集めてきた。

#### 〔日常生活から〕

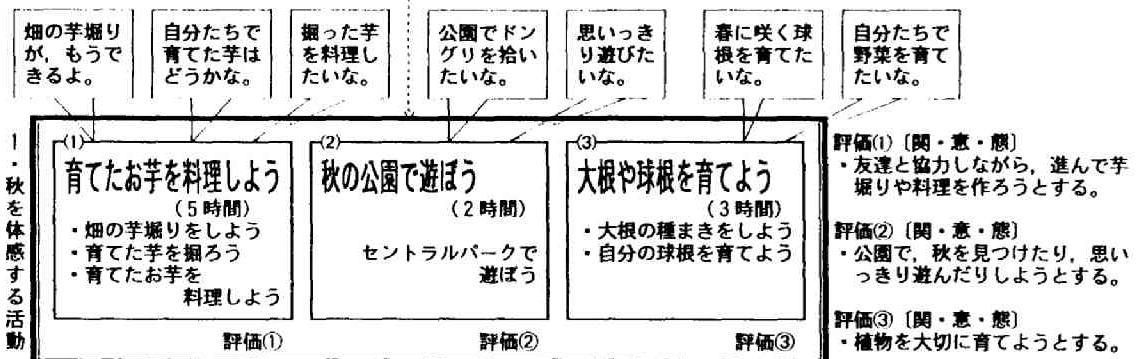
夜には、虫の音が響きわたる。男子の中には、「知らない道探検隊」を結成し、放課後少し遠くまで出かけ、見つけた物を朝の会で発表している。「コロギを捕まえた」と言っている。持って来たが、授業中良い声で鳴いていた。

#### 〔1年生の時の活動の振り返り〕

1年生の時は、秋を体感する活動を絞り、時間を掛けて行ってきた。そのため、児童にとっては印象深く残っている。この季節の活動を促したときはやってみることがすぐに思いつくことができた。



〔第1次・秋と仲良し〕 10時間

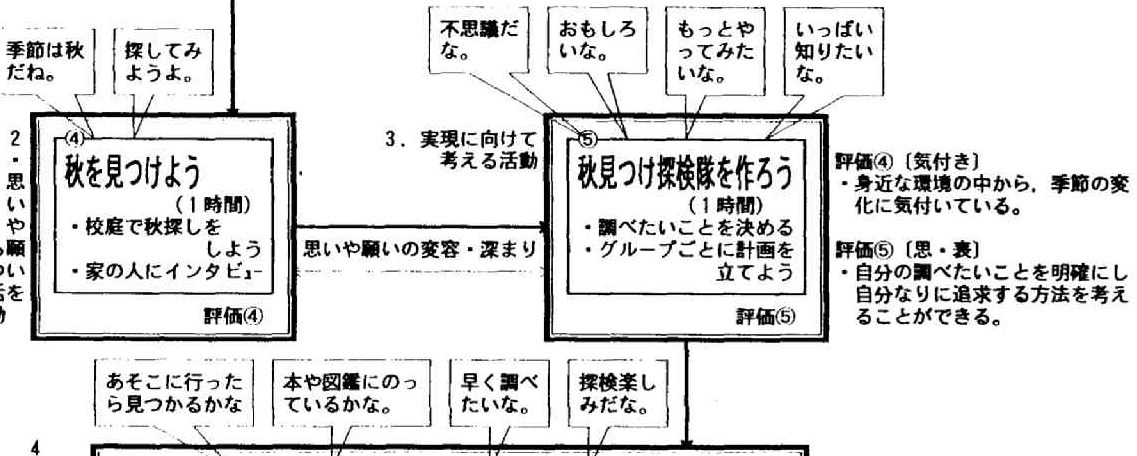


評価①〔関・意・態〕  
・友達と協力しながら、進んで芋掘りや料理を作ろうとする。

評価②〔関・意・態〕  
・公園で、秋を見つけたり、思いっきり遊んだりしようとする。

評価③〔関・意・態〕  
・植物を大切に育てようとする。

〔第2次・秋を見つけよう〕 8時間

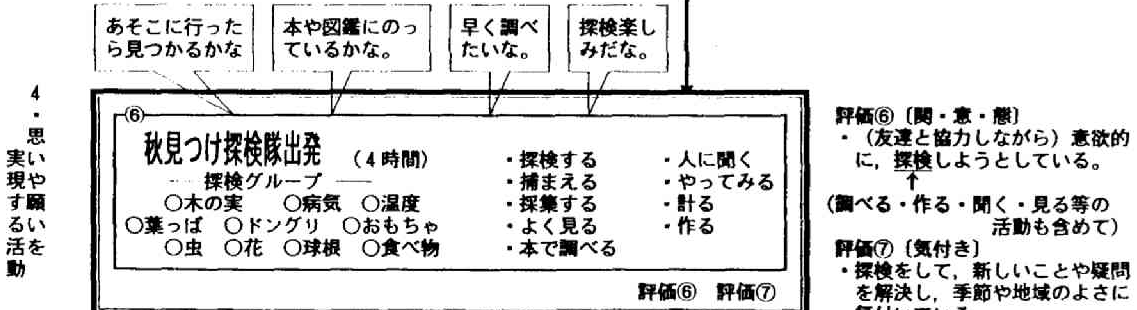


3. 実現に向けて考える活動

思いや願いの変容・深まり

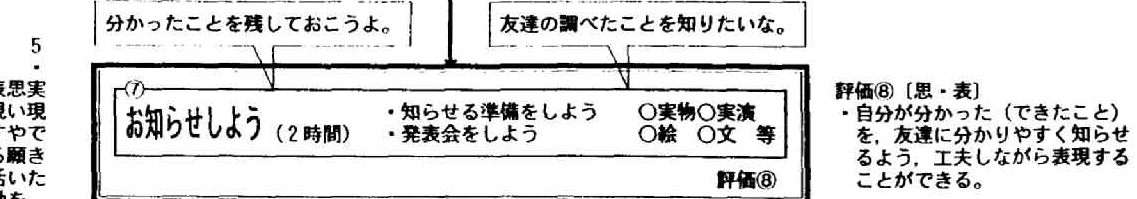
評価④〔気付き〕  
・身近な環境の中から、季節の変化に気付いている。

評価⑤〔思・表〕  
・自分の調べたいことを明確にし自分なりに追求する方法を考えることができる。



評価⑥〔関・意・態〕  
・(友達と協力しながら)意欲的に、探検しようとしている。

評価⑦〔気付き〕  
・探検をして、新しいことや疑問を解決し、季節や地域のよさに気付いている。



評価⑧〔思・表〕  
・自分が分かった(できたこと)を、友達に分かりやすく知らせよう、工夫しながら表現することができる。

5. 表現・実現・表現の活動



## 6 本時の展開

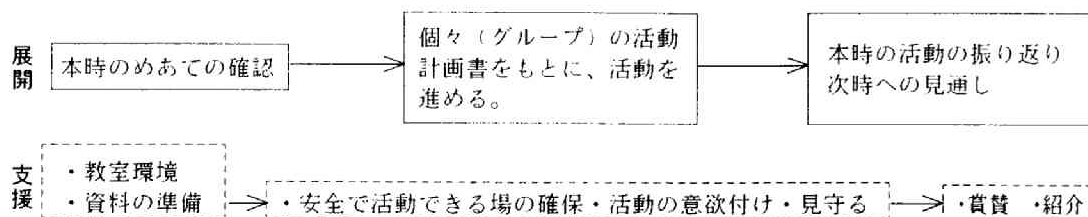
(1) 小单元名 第2次「秋を見つけよう」(13/18時)

・秋見つけ探検隊出発！(1/4時)

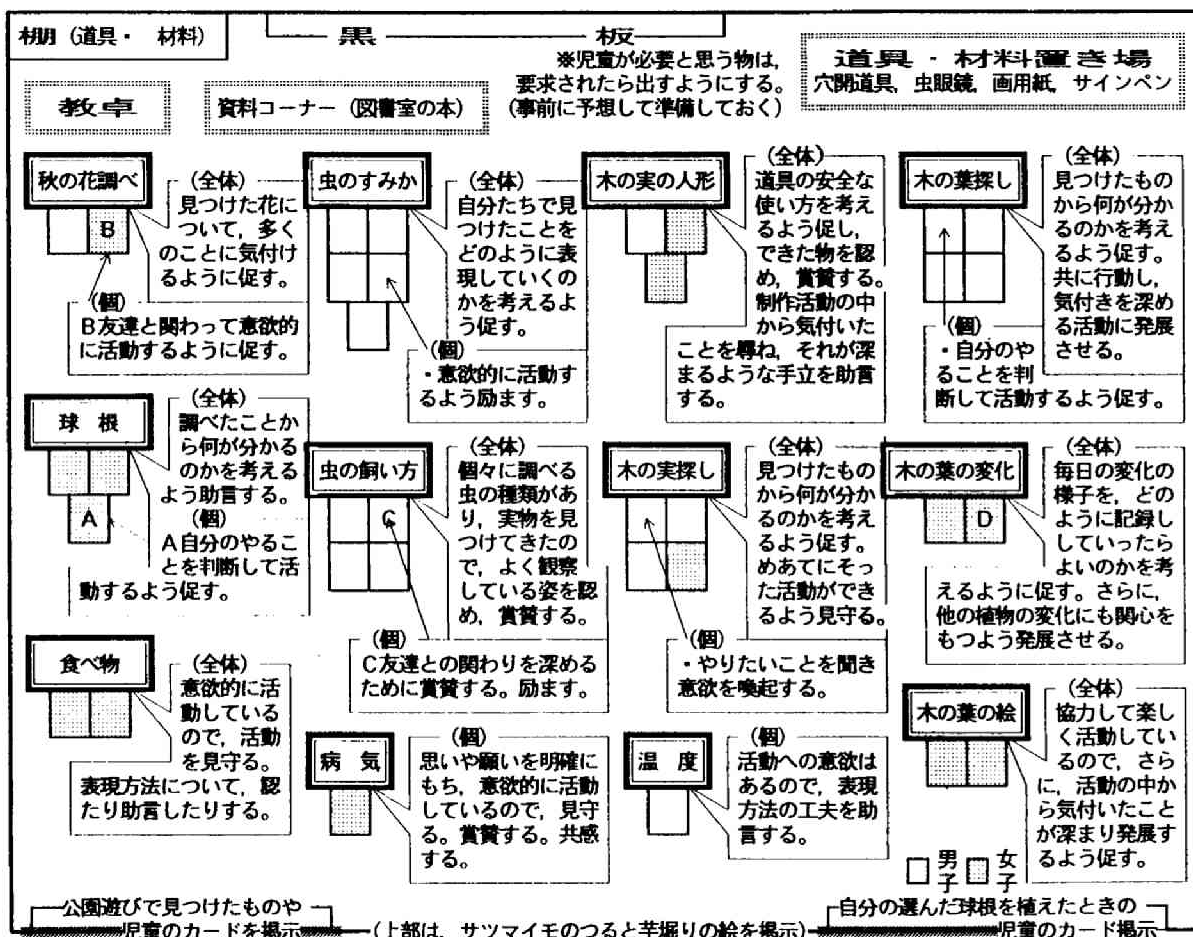
(2) 本時の目標

- ① (友達と協力しながら)意欲的に、自分なりの問題に取り組もうとしている。
- ② 自分で工夫したり考えたりしながら活動し、新しいことに気付こうとしている。

(3) 本時の展開予定と全体への支援計画



(4) 環境と本時のグループ(個)への支援計画



(5) 活動の実際



秋さがしたんけん 計かく書

1. やってみたいことはなんですか。

は、は、の、が、た、ら、ま、い、て、お、人、形、を、の、か、れ、は、を、あ、つ、め、る、(色、が、あ、る、)

2. いっしょにやる人がいたら、何をしよう。

① 大きなかようしをしよう。  
② の、か、よう、し、に、は、い、さ、を、人、形、の、形、に、  
③ そ、し、て、つ、け、る、  
④ (そ、の、前、に、し、ら、べ、た、り、さ、わ、て、み、  
た、り、し、た、い、で、す、) そ、し、て、  
か、ん、さ、つ、し、た、り、か、み、に、思、な、こ、  
と、し、え、を、か、き、た、い、で、す、  
は、い、の、で、上、の、こ、と、を、し、や、う、

3. 行きたい場所

セントラルパーク  
こうえん

4. ひつようなもの

えんぴす、し、き、り、も、さ、う、  
ビロハンテープ、マ、イ、ト、ウ、ふ、く、ろ、

材料不足の「木の実の人形グループ」への支援

(グループの活動が進んでいない。)

T・このグループは何をするの。……質問

C1・木の実で人形を作りたいけど、  
木の実が集まらなかったの。

T・今日は、どうするのかな。……めあての確認

C1・……

T・どこに行ったら、木の実はあるの。……気付かせる

C1・2・公園。学校の体育館の裏。

C3・空き教室のダングリ入れの中。

T・今日は、それを使ってみたいらどうか。……材料の提供

C2・はい。穴あけの道具とマットも貸してください。  
(グループで教え合いながら、活動)

C2・先生、コマができました。

C3・やじろべえが難しいよ。

T・〇〇君が名人だから、こつを聞いてみたらどうか。  
(〇〇君に、尋ねる。)

C3・やじろべえができたよ。

T・すごいね。上手にできてよかったね。……賞賛

先生にも、やらせてくれますか。……共に活動する

C3・(ニコニコと満足な表情)

キリをくるくる使って  
ダングリに穴を開けると  
ころをがんばった。

すぐむずかしかった  
けど、やじろべえが立  
ってうれしかった。

(児童の感想)

意欲的に活動している「木の葉の絵グループ」への支援

(グループで材料を用意し、楽しそうに活動している。)

C8・私は、C9ちゃんと遊んでいる絵にするよ。

C9・私は、お家や木もある絵にするよ。

T・葉っぱの色がいろいろあって、きれいね。……認める

C8・先生、C9ちゃんは、お家でも作ってきたよ。

C9・きのう、自分で作ってみました。  
(手提げから、数枚作った絵を見せてくれる。)

T・とってもすてきですね。……賞賛する  
(2人とも、うれしそうな表情)

T・今日も、すてきな絵ができるといいですね。……励ます  
(その後、仲良く自分たちで考えながら活動を進める。)

見守る

C9ちゃんと話し  
合って作って、楽し  
かった。

画用紙にボン  
ドで張るところが、たいへ  
んだった。

もっと他の葉  
っぱも使って  
みたい。

協力を促した「木の葉調べグループ」への支援

(個々に見つけた木の葉を持ち、虫眼鏡を使って眺めている。)

T・たくさん葉っぱがあるね。……認める

C4・きのう、〇〇公園へ行って拾ってきたんだ。

T・へえ、それで色々な葉っぱがあるのか。……認める

C4・公園のどこで見つけたのか、地図も書いてきたよ。

T・それは、よくわかりますね。……賞賛する

C1・君は、いいことを書いてきたね。  
(このグループは、どこでどんな葉っぱを見つけた  
のかを地図にまとめたという思いがある。)

T・ほかの人の見つけた葉っぱはどうするのかな。……促す

C5・僕は、紙に貼ってきたけど。

C6・ぼくの葉っぱも貼れる紙があるといいね。

T・いいものがあるよ。……必要とするものを提供する  
(用意しておいた模造紙大の地図を提供する。)

C7・みんなで、持ってきた葉っぱを貼ろうよ。

C6・どうやって地図を見るのかを調べようよ。  
(町探検の活動で作った地図を参考にしながら、  
相談しながら活発に活動を進める。)

自分が考えていた  
ものよりも、大きい  
地図ができて、  
うれしかった。

このつづきを  
早くやりたい  
な。

友達となかよ  
くできて、う  
れしかった。

自己評価表

秋さがしたんけん

11月4日(木) 11月

1. やりたかったこと、できたこと。

2. たのしくできたこと。

3. こんど、何をしたいですか。

カマキリについて、もっと本でいろいろしらべ  
てみたいです。

4. ありがとう、がんばったことを覚えてね。

つかまえて、しらべたカマキリが  
木のおや、かきのおもたべること  
を、ぼくは、した。

5. ありがとう、うれしかったことを覚えてね。

カマキリに名前をつけたこと。  
名前は、じろちゃんです。



## 7 実践を振り返って

### (1) 思いや願いの把握

- ・ 児童の日常生活から、児童がどんな活動を求めているのかを予測した。
- ・ 秋を体感する活動を行い、活動中の児童の様子を記録した。(興味・関心・気付きなど)
- ・ どんなことに秋を感じるのかアンケート調査を行い、児童がやってみたいことを記入したカードから、一人一人の思いや願いが明確になった。
- ・ グループや個人で作成した計画書から、教師は、具体的な活動の見通しを把握し、支援計画を立てることができた。
- ・ 児童が記入した自己評価表を参考に、活動中にも思いや願い・活動状況を把握した。

### (2) 一人一人に即した支援

#### ① 観察対象児の分析

| 児童 | 思い・願い        | 活動状況                               | 実際の支援                                                                             | 児童の反応と有効性                                                      |
|----|--------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| A  | 球根で育つ花調べ     | ・自分のやることがはっきりせず、図鑑を見たり、絵を写したりしている。 | ・めあてについて質問し、やりたいことを明確にする。<br>・グループの中で話し合って進めるよう、助言する。<br>・掲示してあるカードを参考にしよう、活動を促す。 | ・友達と一緒に活動したので、やることが明確になったが、自分から考えて行動するところまではいかなかった。            |
| B  | 秋の花探し        | ・黙々と花の絵を描いている。絵だけで他のことは、記入していない。   | ・友達と関わることで、具体的な活動を促す。<br>「〇ちゃんと、学校に咲いている花を見つけてきたら」<br>・気付いたことや表現したことを認め、賞賛する。     | ・具体物を見て、本で葉の特徴から名前を調べ、カードに記入。賞賛されたことで、活動に対して意欲をもった。            |
| C  | 虫<br>【バッタ】   | ・あまり友達とかかわらず一人で虫を見ている。             | ・グループへ、意欲を高める言葉をかける。<br>・自分の知っていることを教えるように促し、友達とのかわりをもたせる。「虫の雄、雌がわかるんだよね」         | ・C児の発言は増えたが、グループからはあまり認められなかった。教室内の活動だったので、本領が発揮しきれなかったように思える。 |
| D  | 葉っぱの<br>色の変化 | ・自分で考えて活動しているが、次の活動の見通しが立っていない。    | ・自分でやりとげたことをおおいに認め、賞賛する。<br>・必要な材料を提供する。<br>・思いを実現するような表現方法について、助言する。             | ・さらに、どのように表現していったらよいのかを友達と話し合っていた。                             |

#### ② 環境の構成と全体への支援の分析

- ・ 情報提供や雰囲気作りという点で、教室の掲示物の工夫はよかった。
- ・ 用意した材料や道具は児童自身が選択して使えるよう、さらに環境の整備を工夫したい。
- ・ 授業始めの全体への教師の発言や声かけは、児童に活動の意欲を高めた。

### (3) 今後の課題

- ・ 活動の導入の段階で、児童が自分の思いや願いを実現するための具体的な方法をつかむために、促す支援が多かったが、見守り、気付かせるような支援も重要である。
- ・ 活動場所や内容が広範囲になるため、安全で質の高い活動にするためには、授業中の支援だけでなく、日頃から学習ルールを身に付けておくことも広い意味での教師の支援になる。

## Ⅵ 研究の成果と今後の課題

### 1 研究を通して明らかになったこと

#### (1) 思いや願いの把握

ア 各単元に入る前に実態を調べ、一人一人の思いや願いを把握するとともに、児童の思いや願いを生かした活動計画を立てた。その結果、児童が思いや願いの実現に向けて意欲的に活動するようになり、教師も見通しをもって支援することが可能になった。

イ 単元全体を通して継続的に児童の思いや願い、活動の様子を把握していったことにより児童理解が深まった。さらに、児童の思いや願いは活動の途中でも変容していくことがわかり、その変容に合わせて支援していくことができた。

#### (2) 支援の在り方

ア 支援というと教師の直接的な「個への支援」と考えられがちであったが、それと同じように、「全体への支援」も有効であることがわかった。全体への働きかけを、児童自らが自分の思いや願いとかかわらせて判断したり、選択したりするようになり、児童が自ら進んで実現へ向けて活動できるようになった。

イ 「環境の構成」はともすると児童の安全面への配慮を中心に考えられていた。本研究ではそれに加え、情報の提供や雰囲気作りなど、児童の思いや願いを生み出しやすい環境を構成することや、活動が継続・発展していくように環境を再構成していくことをも重視している。このことは、児童の意欲的・発展的な活動を促す上で効果があることがわかった。

ウ 支援分類表を活用することによって、具体的な活動場面で、どのような傾向の児童に、個・全体・環境からどのような支援をしていけばよいかの観点が明らかになり、支援計画がより綿密に立てられるようになった。

エ 教師の支援の在り方で最も大切なことは、児童に対する共感的な愛情をもった姿勢である。助言や声かけによる支援は、この共感的な愛情をもった姿勢がなければ、児童に訴えかけるものが弱まってしまう。反対に、共感的な愛情をもったものであれば、行動による支援や表情による支援でも児童に影響を及ぼす。

### 2 今後の課題

- 今回の研究で扱えなかった単元や活動についても実践を重ねて支援分類表を充実させ、さらに多くの単元や活動で活用できるよう研究を進めていく必要がある。
- 児童の実態・学校や地域の環境を把握した上で、児童の思いや願いを生み出しやすい教材を開発することが必要である。